

## オートモアイ / AUTOMOAI

2015年からモノクロでの作品の制作を開始。2018年からはカラーも多用し、匿名性の高い“存在”が画面に佇んでいるような作風で知られる。極めて客観的でもありながら、パーソナルな情景にも見えてくるその作風は、人間同士の関係性や、作品と鑑賞者の関係性など、必要な情報が削ぎ落とされているからこそ見えてくる景色と情景を提示する。

### 主な個展

2019年「Permanent Boredom」(TAV Gallery)

2020年「Bouy」(CALM AND PUNK GALLERY)

2021年「あやまった世界で愛を語るには」(イセタン ザ・スペース)

2022年「I wanna meet once again if like that dream」(SAI)

2022年「名前を忘れることで距離をとっていた」(TAV Gallery)

2022年「澱を泳ぐ」(デカメロン)

### 作品集

2018年『Endless Beginning』(焚書舎)

2019年『ANGEL』(PARCO出版)

2022年『Reminiscence』(焚書舎)